



代表
岩政 徳 さん (83 歳)
門 前 町

七曲ボランティアグループ

愛宕山の海側斜面の一部を削って造成されて 40 年になるという七曲団地(門前山手第 3 自治会)は、世帯数 122 戸・住民数 305 人中、65 歳以上が 142 人の高齢化団地です。

自治会において急速な少子高齢化が進み自治会費の支出削減のため、平成 17 年敬老会の祝い金を廃止した代替事業として、高齢者の集いの場「**サロン七曲の会**」の活動を開始しました。

平成 23 年、岩国市社会福祉協議会(市社協)の“これからは、地域が家族高齢者生きがいボランティアグループ募集”の高齢者が高齢者を支える趣旨に賛同し会員 15 人で「**七曲ボランティアグループ**」を結成しました。

今年 4 月の会員数は 19 人(男性 5 人・女性 14 人)60 代から 90 代の方が登録し、活動しています。

原則として、団地内の高齢者(75 歳以上の独居者)や病弱者などの日常生活での困りごとなど軽度の支援をしています。
(ゴミ出し 買物 剪定 草取り 掃除 炊事 話し相手)など。

話し相手(見守り)の活動は、特に多く 年間 1300 回以上の実績をあげています

一人住まいの高齢者から、日ごろ家にいて話し相手がなく寂しく不安であるという声より、75 歳以上の独居高齢者 16 人(男 4 人 女 12 人)を戸別訪問。見守りボランティア活動の趣旨を説明し、希望者の 12 人(男 2 人 女 10 人)から見守りの要望を聞き、見守る側との両者の承諾のもと、話し相手などをしながら見守りをしています。

活動は原則として無償ボランティアです。市社協から一回の活動につき 500 円の補助がありますが、一団体へ年間 24,000 円が上限です。この助成金でグループの方に指定ゴミ袋を活動数に応じて配分しています。

「サロン七曲の会」では、季節に合ったお祭りや温泉旅行、自治会で始めた敬老会もサロンが全面的に協力をしています。また、二か月に一回行われる世話人会では、元民生委員だった岩政末子さんを中心に、サロン行事の計画を練りながら話も弾み交流を深めています。また、ボランティア活動の一つの“おしゃべり会”の、時間を忘れてのひと時は、多くの高齢者に無上の喜びと楽しみを与えているようです。

元氣印のハンカチ

「緑色は偶数日」、「黄色は奇数日」と毎日、外から見える決めた位置にハンカチを吊るし、元気でいる目印としています。毎日忘れずにすることで脳の活性化にもつながるそうです。



「顔の見える関係」づくり

安心して暮らす 地域とのつながり

みなさんは 同じ地域に暮らす人たちの顔が わかりますか？

隣や近所の人に会ったとき、気軽に「おはようございます」

「こんにちは」と あいさつしていますか？

気軽にあいさつ出来ると、住んでいても楽しいし、なんとなく安心感がありますよね。このような隣近所とのつながりを持つことで、住民の地域に対する関心も深まり、災害時など、いざというとき、心強い地域づくりにつながります。

若者の流出や高齢化が進むとともに、近所付き合いが少ない地域が増え、自治会組織はあるものの組織の運営が難しくなっているようです。また、社会では、一人住まいの家庭や、老老介護の家庭も増えるなど状況は変わりつつあります。

この様な中、顔の見える関係づくりを進め、日ごろから、お互いに気に掛け合う「見守り」を行う関係づくりを目指し、積極的に活動をする自治会やボランティアグループも増えてきました。

今回は、そんな関係づくりを進め、地域の皆さんとともに暮らすグループを紹介します。

「見守り」って？

お互いが安心して暮らせるよう
「気にかける」ことを「継続」することです。
そうすることによって、普段とちょっと様子が違うことがあると
すぐに気づくことができます。



まずは できることから一つずつ進めていきましょう

近年、地域の互助意識が希薄になりつつあると言われる中、近隣住民とのつながりは災害や犯罪などの不測の事態から身を守るためにも重要性を増しています。岩国市には約 800 の自治会があります。しかしながら、岩国市の自治会加入率は年々減少傾向にあります。



自治会長 今年で 9 年目！



川下地区連合自治会
大 敷 第 二 自 治 会 長

山田真理子さん (54 歳)
大敷第二自治会 (65 世帯)



会長を引き受けたころの気持ちは？

地域とつながっていたいと思い少しでも地域のお手伝いができたらと引き受けました。母親がボランティアや地域のお世話をしていたので、その影響もあったのか、地域やみんなの中で活動することに違和感はありませんでした。

自治会長になられて良かったと思ったことは？

隣や近所だけでなく、みんなとコミュニケーションがとれ、自治会の皆さんの名前と顔がわかることです。

大変だと思うことは？

仕事、子育て、家事などをしながらの毎月 2 回の市報の仕分けは、少々大変ですが、夫に手伝ってもらいながらやっています。

年に数回、平日の午後からある自治会長集会への参加は、職場の有給休暇が、1 時間単位で取得できるので助かります。

私に出来ることをしているだけで、特別なことは何もしていません・・・自治会の皆さんの協力があってできています。